

水遊び通信

**2010年も水辺に遊ぶ会を
よろしくお願いします。**

(この少年も水辺に遊ぶ人なのね……)
それにしてもタダの石ころと思わず
に拾ってきたところがエライ。将来
たこつば博士の後継者になれるかも)
▼早速、我らがたこつば博士に確認
したところ、縄文後期の石斧（木に
取り付けた使う斧）だとお墨付きを
もらつた。どーして縄文後期とわか
るかというと、弥生時代になると木
にはめ込むための穴（ソケット）を
あけた進化形になるからだそうな。
ふうーん。縄文中津人からのメッセ
ージが時を超えてやってきたんだ。
▼山国や耶馬溪、本耶馬には縄文遺
跡が多い。それも標高60M～200Mぐ
らいまでの間の山国川水系の河川沿
いに点在している。縄文時代から、
この地に多くの人間が住んでいたこ
とに驚きを感じるのである。

そこで「タクシ
さかわや大脇が俗語
はでかい湖があつたんぢやないかと。
どこにあつたのかつて？ それはだ
ね。三光鮎帰りのあたりで山国川が
堰き止められて、上流部が湖だつた。
今日、耶馬溪の名勝となつてゐる競
秀峰や擲筆峰、古羅漢などの岩峰は
その時に浸食されてできた景色では
ないかと推定するのである。

▼氷河期と呼ばれていた時代の終わ
りごろ、我々の祖先は、古代耶馬溪
湖（勝手に命名）を利用して舟で往
來し、その子孫たちが山国川水系の
あちこちに定着し、縄文文化を生み



No.41
2010・新春の号
発行
NPO法人
水辺に遊ぶ会

またまた新説か？ 珍説か？

ひがた大学アッキー教授の 古代耶馬溪湖の水辺で遊ぶ

出したのではなかろうか。古代中津人も、やはり水辺で遊ぶ人だつたに違いない。うん。

▼繩文時代に入つてからの山国川は、現在よりも水量が多く、舟を使って下流の干渉に食料を求めて出かけていたのである。粉洞穴の遺跡から

- 活動報告(2009.8.1～2009.12.31)

 - 8. 1 山国川川魚漁体験(山移川)
 - 8. 3 アカテガニ産卵観察会
 - 8. 5 カブトガニ調査
 - 8. 7 中津市キッズサイエンス講師
 - 8.20 山移小干潟観察会講師
 - 8.21 ウナギ塚漁の見学
 - 8.23 竹切り作業(屋形)
 - 8.25 イカダを作って山国川で浮かべよう
 - 8.26 中津市環境審議会
 - 8.28 大分県道州制研究会
 - 9. 1 三百間サンドリサイクル現地調査
 - 9.2-3 環境・生態系保全対策技術講習会
(千葉県木更津)
 - 9.12 大分県希少野生動植物保護推進員
研修講師
 - 9.13 香々地青年の家海辺観察会指導
 - 9.14 白野小学校環境学習講師
 - 9.15 ササヒビ調査
 - 9.20 竹切り作業(大新田)
 - 9.25 人と海の共生事業審査基準検討
部会出席
 - 9.27 大新田海ビーチクリーン&漂着物調査
 - 9.28 大分市商工会議所取材
 - 10. 2 鶴居公民館高齢者教室講師
 - 10. 3 エコキッズ準備(中津城公園)
 - 10. 4 エコキッズ植樹・干潟観察指導
竹運搬
 - 10. 5 人と海の共生推進構想検討委員会
 - 10. 9 九州大学里海シンポジウム発表

伝言板

水辺に遊び会 2010年前半の行事予定でーす。

2月14日 11:00～ ズグロカモメと冬鳥観察会

2月のおわりが3月のはじめの日曜 ノリすき体験

3月14日 11:00～ 大新田ビーチクリーン

3月のおわり頃 外来魚をつかまえて食べてみよう

4月～5月(計4日) 今年もやるよ！たこつぼ体験

6月13日 11:00～ 大新田ビーチクリーン
13:30～ 春のひがた観察会

7月24日 13:00～ 夏休みひがた観察会

8月23日 19:30～ アカテガニの産卵観察会

夏休みのどこか 山国川の川魚漁体験(予定)

9月19日 11:00～ 大新田ビーチクリーン

★行事の詳細は別途チラシを発送します！

★アヤシイ干潟調査隊も隨時募集中デス。

※上記日程は変更になる可能性があります。また、上記以外の行事が実施される可能性もあります。行事前にお送りするガタガタ通信やチラシをご参照ください。

昔の海の写真募集中 ササヒビ・浜遠足・貝掘りなど
昔の海の写真を探しています

★毎月11日はジャスコでお買い物★イオン三光SC イエローレシートキャンペーン★
毎月11日にお買い物をした黄色いレシートを食品レジ前の「水辺に遊ぶ会」BOXに入れて
いただぐと、金額の合計の1%が水辺に遊ぶ会の活動資金として寄付されます。

ホームページ営業中！遊びに来てね！！

<http://www.max.hi-ho.ne.jp/y-ashikaga/>

水辺の遊戯 MUSEUM

水辺に遊び会ミュージアムは「建物のない博物館です」
<http://www.geocities.jp/kabunyukun/index.html>

メールはこちらへ→mizube1999@yahoo.co.jp

■すっかりあけちゃいまして、おめでとうございます。本年も水辺に遊ぶ会、よろしうお願ひいたします。ガタガタ通信はちっとも出ないし行事はないし、水辺に遊ぶ会どーなってんだー?というメールやお声がちらほら。ごめんなさい。すーっかり遅くなりましたが、ガタガタ通信お届けいたします。正月からアッシー教授が頑張ってます。(う)

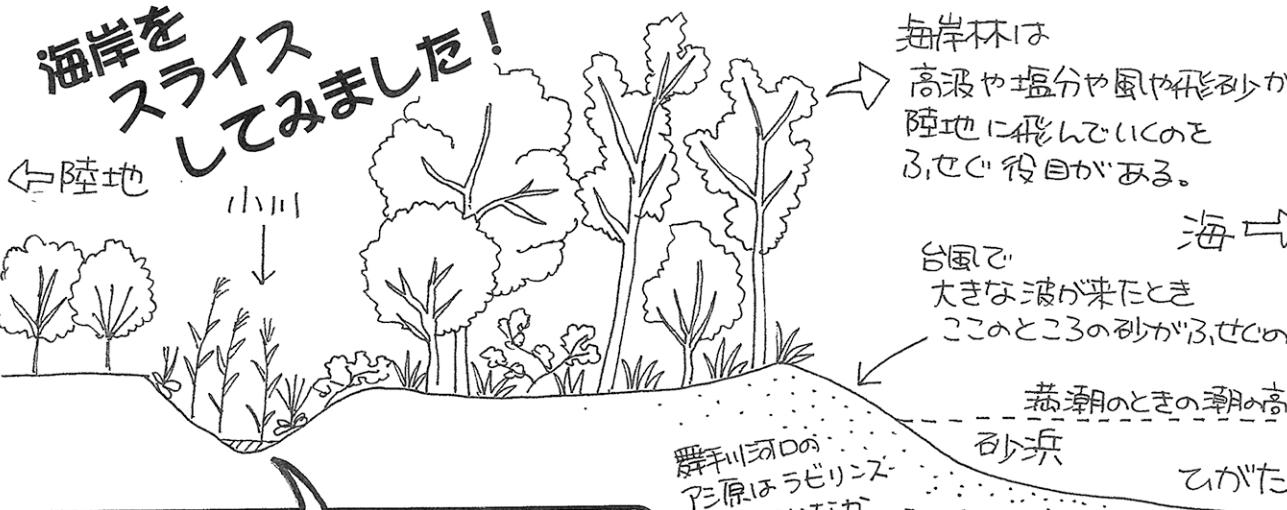
★「作っちゃおう・食べちゃおう2009」は
「J.T青少年育成に関するN.P.O助成
事業」を受けて実施しています。

生きものたちはただひたすらに次の世代へと生命をつなぐ日々を紡いでいる。

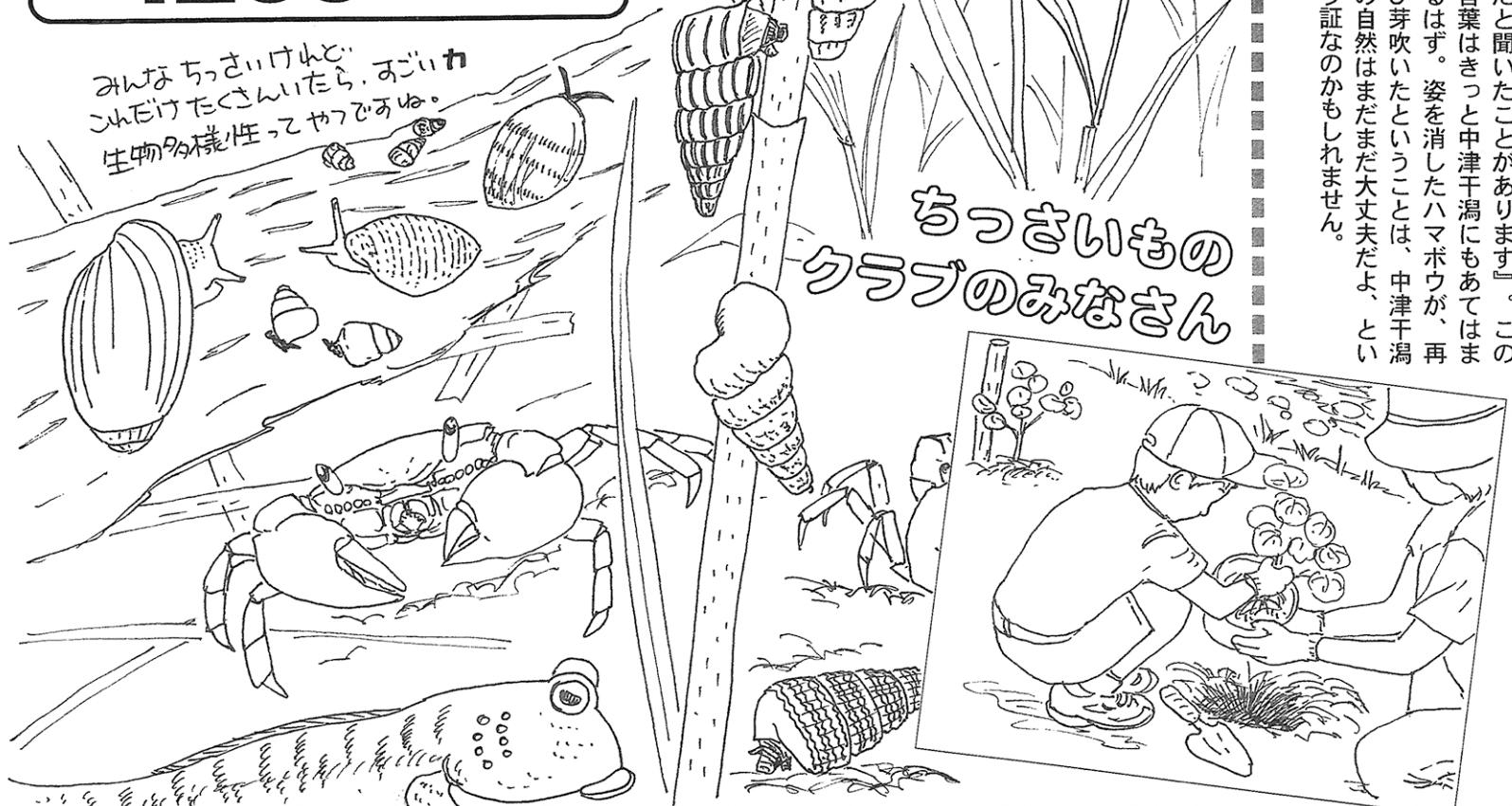
私たちの活動も、やがて芽吹く小さな希望の種を育てる」とができるいるのだつが。

すごいぞ！舞手川河口

5年間の調査で
いろんな事がわかつたよ。



「ちっさいもののクラブ」の
みんなのすんでいる場所。
ナント！ 1メートル四方に
4200匹も！！



■今から7年前の初夏、中津川の河口の砂州で、黄色い花をたくさんつけた低木を見つけました。ハマボウです。広大な中津干潟をバックに、薄黄色の花が潮風に揺れている光景は、何とも言えずさわやかで気持ちのよいものでした。あつという間に花の時期は終わりましたが、枝の先にたくさんできた種を少しお裾分けしてもらい、持ち帰りました。アヤシイ干潟調査隊のそれまでの調査では、この時見つけた2株が中津で確認した唯一のハマボウでしたので、次年の初夏には、たくさんの人々にハマボウの花を見てもらおうと葉しにしていました。ところがところが、この年の秋は台風が多く、残念なことにハマボウは流されてなくなってしまったのです。

■翌年の春、中津の海岸にハマボウを咲かせたいという思いで、奇跡的に手元に残った種を栽培してみました。A隊員が丹誠込めてお世話をした株は約50本。海辺の植物なので潮風のあたらない庭先はお気に召さないか、なかなか大きくならないものの、昨年の秋には50センチ程の高さに成長しました。そして、10月4日、大分から遊びに来てくれたエコキッズの子どもたちと一緒に、この苗を中津川の河川敷公園に植樹しました。この日は、中津川河口に自然に根付いていたハマボウが何本も見つかり、アヤシイ干潟調査隊隊員はサプライズな発見にビックリ。親の木は流れなくてなくなりしまいましたが、子どもの木が子どもたちの手で植樹され、また中津川に根付いていくのは大変楽しみです。

■ハマボウのことを調べていると大阪在住のお年寄りの言葉に出会いました。「ハマボウは、海の浄化にも一役買っているようで、ハマボウの子どもたちと一緒に、この苗を中津川の河川敷公園に植樹しました。この日は、中津川河口に自然に根付いていたハマボウが何本も見つかり、アヤシイ干潟調査隊隊員はサプライズな発見にビックリ。親の木は流れなくてなくなりしまいましたが、子どもの木が子どもたちの手で植樹され、また中津川に根付いていくのは大変楽しみです。

■ハマボウの花言葉は「楽しい思い出」。山国川が大好きで、中津川のほとりで見つけた小さなハマボウを大切に見守り続けた友人の笑顔を思い出しながら、彼が夢見たであろう無数の黄色い花が水面に揺れる日が、いつか來ることを願っています。



よい子の里海里浜図鑑

名付け親はシーボルトといわれている
ハマボウ (*Hibiscus hamabo* 浜朴・黄槿)
アオイ科の落葉低木。千葉県以西から奄美大島、朝鮮半島の海岸沿いや河口付近の干潟の陸側や湿地帯に生育する。樹高約3m。花期は7月から8月で、5cm程度の、中心が赤褐色の黄色い花を咲かせる。葉は先端が尖った橢円形で互生する。干潟の減少や海浜部の造成のため天然状態での生息地は年々狭まり、大分県でも絶滅危惧種とされている。漢字の浜朴は「浜辺に生えるホオノキ」、黄槿は「黄色いムクゲ」という意味からだろうか。